

工 房
を 訪 ね て

OKE 
CRAFT
 オケクラフト

vol.4



工房 おお さき
大 崎

おお さき ま お
大 崎 麻 生さん
 (秋田)

■オケクラフトマンを目指すきっかけは

「子どもの頃からモノづくりが好きでした。将来を考えていたとき、下川町で木工を営む叔母から置戸の研修制度を紹介され、応募を決めました。この時に初めて置戸のことを知りました」

■楽しかった3年間の研修生時代

「当時は研修生も多く、9人いた時もありました。町内の下宿に住んでいた者同士の交流もあり、青年活動も盛んでした。楽しい時代でしたね」

■世界に一つだけ、シラカバの器の魅力

「シラカバは、作り手3、4人で11～12月頃に、直径30cm未満の木をチェーンソーで伐採します。1本の材からボウルなどの器を100個以上作ることができます。伐採した原木は、カビが生えるなど痛んでくるため、6月頃までに器のカタチに仕上げます。マツなどの板材に比べ、材料は豊富にありますが、伐採から製品に仕上げるまで、とても手間がかかります。シラカバの器の良さは、カタチも大きさも一つずつ異なることです。自分でも作っているとき、『これ、いいな』と思うことがありますね。」



「秋田の皆さんには、工房開設当初からお世話になっています」と大崎さん



削ってできた木くずは、地域の農家が牛の寝わらに利用

大崎麻生さんプロフィール

森町出身、50歳、家族は妻と1男1女。平成7年にオケクラフト研修生として置戸町に移住。平成13年に現在の工房を開設。消防団員として地域の活動に参加。

置戸町に来た方
 を紹介する

みなさんこんにちは



こ が かつじ
古賀 一二さん
 置戸赤十字病院
 事務部長

【出身は】札幌市生まれ
 【前任地は】浦河赤十字病院
 【ご家族は】妻と息子2人

【趣味は】映画鑑賞、観葉植物
 【置戸の印象】きれいな街並みとみんながイベントに参加し、盛り上げるまち。
 【皆さんへ一言】単身赴任のため、生活で苦労していますが、おけとライフを楽しんでいます。よろしくをお願いします。



おお もり りょう た
大森 涼太さん
 置戸高校 福祉教員

【出身は】遠軽町生まれ
 【前任地は】留寿都高校
 【ご家族は】妻、息子2人
 【趣味は】ランニング

【置戸の印象】皆さんがとても良くしてくださり、地域で子育てしてもらっています。置戸高校生は、純粋で素直。難しいことにもチャレンジする生徒たちです。
 【皆さんへ一言】ご迷惑をかけることもありますが、町の楽しい行事に家族で参加したいと思います。